外来医師担当表

各診察日担当医師につきましては、手術・学会等のため代診・休診とさせていただく場合がございます。ご了承ください。(※医師休診情報は当院ホームページに掲載しております)

内科

受付時間　8:15～11:15　下記、専門内科への判断が難しい内科的症状に属する紹介は、これまで通り、新患外来担当医が対応させていただきます

	月	火	水	木	金
呼吸器 新患			國近尚美		
呼吸器 再来		國近尚美		國近尚美	呼吸器 山大(非常勤)
消化器 新患	鍛治屋祐(消化管)	原田　英(消化管)	鈴木俊幸(胆・膵)	才木琢登(消化管)	
消化器 再来			鍛治屋祐(午後)土屋昌子	原田　英	鈴木俊幸 才木琢登
糖尿病内分泌 新患		池内千明		近藤　学	堀内俊輔
糖尿病内分泌 再来	近藤　学 池内千明		堀内俊輔		近藤　学
腎臓 新患	髙江啓太	西田明弘	林　佐保	菰田有佑	
腎臓 再来	菰田有佑	林　佐保	髙江啓太	西田明弘	
膠原病	完全予約制				
膠原病 新患					中山剛志
膠原病 再来	中山剛志	中山剛志	民本泰浩	中山剛志	民本泰浩
循環器	受付時間　8:15～11:00				
循環器 新患/再来	道重博行 鈴木慎介	道重博行 鈴木慎介	道重博行 鈴木慎介	道重博行 ※院外紹介のみ	道重博行 鈴木慎介 (第1と第4又は第5は不在)
脳神経	受付時間　8:15～11:30(完全予約制)				
脳神経 新患/再来	大堀展平 永田倫之	大堀展平 岩尾和紀	大堀展平 (再診のみ) 永田倫之	大堀展平 岩尾和紀	大堀展平 (再診のみ) 永田倫之

☆ピロリ菌特殊除菌外来　毎週火曜日　14:00～※完全予約制
☆肝臓内科(土屋昌子医師)　毎週水曜日　13:00～※完全予約制
☆禁煙外来　毎週金曜日　14:00～※現在、再来のみ
☆CAPD外来　毎月第1金曜日

小児科

受付時間　8:15～11:30

	月	火	水	木	金
新患/再来	津田廉正 村本健翔 松本直子	門屋　亮 西郷謙二郎 井上雅崇 大淵典子	津田廉正 松本直子 大淵典子	門屋　亮 村本健翔 井上雅崇 大淵典子	門屋　亮 西郷謙二郎 松本直子

専門外来※完全予約制	小児循環器外来	毎 月 第4月曜日	13:00～
	NICUフォローアップ外来	毎 月 第2・4水曜日	14:00～
	発達外来	第2・4・5火曜日	13:30～
	アレルギー外来(真方)	第2週 水曜日	14:00～16:00
	成長外来	第4週 水曜日	15:00～17:00
	心臓検診	毎 週 水曜日	午前中
	(OD検査日) ※OD検査日:事前診察必須	毎 週 火・木曜日	午前中
予防接種	予防注射	毎 週 火曜日	13:30～14:00
健診	乳児健診(3ヵ月・7ヵ月・1.6歳・3歳)	毎 月 第1・3水曜日	13:00～14:00
健診	乳児健診(1ヶ月)	毎 月 第1・2・3・5月曜日 (祝日がある場合、変更の可能性あり)	13:30～14:00
		毎 週 金曜日	13:30～14:00

産婦人科

受付時間　月・水曜日　8:15～11:30
火・木・金曜日　8:15～11:00

	月	火	水	木	金
新患	金森康展	月原　悟	高石清美	南　星旭	申神正子 小作大賢
再来	高石清美 南　星旭	交替制	月原　悟 小作大賢	申神正子	金森康展
妊婦健診	申神正子	小作大賢	南　星旭	高石清美	月原　悟

専門外来	助産師外来	毎週	月・火・木曜日　13:30～
	遺伝外来(月原)	毎週	月曜日　15:30～
	腫瘍外来(金森)	毎週	月曜日　14:00～
	ハイリスク妊婦外来(月原)	毎週	水曜日　14:00～
	思春期・更年期外来(申神)	毎週	金曜日　14:00～
	胎児スクリーニング外来(月原)	毎週	月・金曜日　14:00～
	産後2週間健診	毎週	月・火・木曜日　13:30～
	母乳外来	毎週	月・火・木曜日　13:30～

外科

受付時間　月・水曜日　8:15～11:00　木曜日　8:15～11:30
火曜日　9:00～11:30　金曜日　9:00～11:00

	月	火	水	木	金
新患	遠藤　翔 亀岡宣久 (外科一般 肝・胆・膵)	黒木英男 (外科一般 呼吸器)	山中直樹 (外科一般 食道・胃)	佐々木暢彦 (外科一般 大腸・血管)	森松克哉 (外科一般 胃・大腸)
再来(午前)	亀岡宣久	佐々木暢彦 亀岡宣久	黒木英男 王　佳雄	黒木英男 山中直樹 亀岡宣久	佐々木暢彦
再来(午後)		森松克哉 山中直樹		遠藤　翔 王　佳雄 (第2・4)	

☆ストーマ外来　第2・4火曜日　午後　※完全予約制
☆NST外来　第1・3木曜日　午後　※完全予約制

乳腺外科

	月	火	水	木	金
新患	鬼塚　哲	鬼塚　哲	横畑和紀	王　佳雄	鬼塚　哲

整形外科

受付時間　8:15～11:00　※火・木の手術日 8:15～10:00

	月	火	水	木	金
新患/再来	城戸秀彦 (膝関節 人工関節) 加茂健太 濵　大輝	加茂健太 (股関節 リウマチ) 濵　大輝	城戸秀彦 (膝関節 人工関節) 加茂健太 原口明久 原野理沙	原口明久 (足の外科 関節・リウマチ) 川本浩大	城戸秀彦 (膝関節 人工関節) 原口明久 川本浩大 原野理沙

脳神経外科

受付時間　月・火・木曜日　8:15～11:30
金曜日　8:15～11:00

	月	火	水	木	金
新患/再来	濵田康宏 山下壮二朗	濵田康宏 山下壮二朗	手術のため休診	濵田康宏 山下壮二朗	濵田康宏 山下壮二朗

※手術のため金曜日も休診となる事があります。

泌尿器科

受付時間　8:15～11:00(※火曜新患は院外紹介状をお持ちの方のみ)

	月	火	水	木	金
新患	篠原陽平	須賀昭信 (院外紹介)	野村悠一郎	塚本　学	中村公彦
再来	須賀昭信	篠原陽平	須賀昭信	野村悠一郎	塚本　学

☆ESWL　毎週　火・木曜日　午後～

眼科

受付時間　紹介状をお持ちでない新患　月曜 8:15～9:30　金曜 8:15～10:00
再診/紹介状お持ちの新患　8:15～10:30

	月	火	水	木	金
新患	湧田真紀子	山内一彦 (紹介のみ)	山内一彦 (紹介のみ)	手術のため休診	緒方惟彦
再来	山内一彦 湧田真紀子	山内一彦 (予約制)	山内一彦 (予約制)		山内一彦 緒方惟彦

耳鼻咽喉科

受付時間　8:15～10:30

	月	火	水	木	金
新患/再来	安井徹郎 岩本あさの	安井徹郎 小池健輔	安井徹郎 小池健輔	安井徹郎 小池健輔	安井徹郎 岩本あさの 小池健輔

皮膚科

受付時間　月曜日　8:15～9:30
火～金曜日　8:15～10:30　(※再診は完全予約制)

	月	火	水	木	金
新患/再来	高旗博昭 八木献(形成)	高旗博昭 久本岳史	久本岳史 駄阿也眞人	高旗博昭 久本岳史	久本岳史 高旗博昭

☆形成外科(八木献医師)　毎週月曜日　8:15～9:30　※再診は完全予約制

歯科口腔外科

受付時間　8:15～11:00

	月	火	水	木	金
新患/再来	上村俊介 近藤慶英 塩次將平	上村俊介 近藤慶英 塩次將平	上村俊介 近藤慶英 塩次將平	上村俊介 近藤慶英 塩次將平	上村俊介 近藤慶英 塩次將平

セカンドオピニオン

完全予約制　予約先 083-923-0390

各科の専門医が、ご相談をお受けいたします。受診日時については、患者さんの希望日時と調整の上決定いたします。

お知らせ

当院への入館をAM8:00以降とさせていただいております。
感染症予防のためご協力をお願いします。
・自家用車でご来院の方は8時までは自家用車内でお待ちいただくようお願いいたします。
・来院の際には、必ずマスクの着用をお願いいたします。

2023年2月16日現在

山赤かわら版 vol.236 2023.3月号
【発行者】綜合病院 山口赤十字病院 広報委員会　ホームページ http://www.yamaguchi-redcross.jp/
〒753-8519 山口県山口市八幡馬場53-1 TEL 083-923-0111

綜合病院 山口赤十字病院 広報誌
山赤かわら版
病院キャラクター やまクロです
2023 3月号 vol.236
ご自由にお持ち帰りください

特集 Feature

糖尿病とスティグマについて

糖尿病内分泌内科
池内 千明

スティグマとは、一般的に「不名誉」「負の烙印」などといった意味を持ち、ある特定の属性をもつものが差別や偏見の対象となることを指します。近年、糖尿病の分野においてもスティグマが注目されています。糖尿病におけるスティグマの例として、「自己管理ができていない」「怠惰な生活を送っている」といったイメージを抱かれることや、生命保険に入れない、就職や昇進に支障をきたすなどの社会的な不利益を受けることが挙げられます。スティグマを放置していると、本人が糖尿病であることを周囲に隠すようになり、適切な治療を受ける機会を失うことで糖尿病や合併症が重篤化してしまうケースも出てきます。こうした状況を防ぐためにも、糖尿病協会・学会を中心にスティグマを取り除くための活動が行われています。

そのなかで、「糖尿病」という病名自体がスティグマではないか、という考えが話題になっています。そもそも「糖尿病」という病名は、紀元2世紀にカパドキアに住むアレタイオスにより“diabetes”と命名されたのが起源とされています。“diabetes”は、「サイフォンを通すように水がとめどなく流れ出る」という意味です。アレタイオスは糖尿病について詳細に記しており、「糖尿病とは不思議な病気で、肉や手足が溶け出してしまう」、「患者はとめどなく尿をし、その流出はあたかも水道の蛇口のようである」、「火で焦がされるように口はカラカラに渇き、体は水気を失い、内臓はしなびたようになる」など、症状や予後についても細かく観察しています。“diabetes”は、ホルモンの欠乏あるいは作用不足のために尿が崩れるように出る尿崩症という病気も意味するため、18世紀にオクスフォード大学のWilliam Cullenにより“diabetes mellitus”と名付けられました。“mellitus”とは蜂蜜を意味する言葉であり、“diabetes mellitus”は西洋圏で糖尿病の語源になりました。一方、日本では「糖尿病」を表す言葉として、中国で命名された「消渇」や、“mellitus”という言葉が伝わってからは「密尿病」が用いられていましたが、1907年の日本内科学会講演会にて「糖尿病」という名前に統一されました。

このような歴史的な背景があり「糖尿病」という名前が定着しましたが、日本糖尿病協会が行ったアンケート調査では、大多数の人が病名への抵抗感や不快感を抱いており、半数以上が病名の変更を希望しているという結果でした。日本における糖尿病人口はいまや1000万人を超えると推定されており、スティグマに悩む糖尿病の方も多数存在すると予想されます。病名自体がスティグマの一因になっているとすれば、病名変更も検討する必要があるのかもしれません。

参考文献:二宮 陸雄(2015)『新装復刻版 インスリン物語』
医歯薬出版株式会社

＜ 理 念 ＞
わたしたちは、「患者さん中心の地域連携」に取り組み、あたたかな信頼のおける医療を提供します。

＜基本方針＞
1.赤十字の心(人道・公正・積極性)をもって、良質で温もりのある医療を提供します。
2.医療に関わるあらゆる安全管理に、最大の努力をします。
3.災害時には、地域の皆様の医療救護活動に努めます。
4.一人ひとりが活き活きと、働きがいのある病院を目指します。

綜合病院 山口赤十字病院 NEWS

最近の話題やお得な情報を
ピックアップしてお届けします。

TOPICS トピックス

火災訓練 ～病院の安全と安心を守るために～

当院では毎年火災訓練を行っています。あってはならないことですが、万が一院内で火災が起こった時は職員の適切な初期対応が求められます。「患者さんの安全を確保しながらどう避難するか」を意識し、皆で連携した動きを取ることができるようにするためには、定期的に訓練を行うことが必要です。

❶訓練では「消火器が正しく使用できたか」「避難ルートの選択は適切か」「避難にかかった時間」など複数のチェック項目があり、クリアできているかを評価係（写真左）が確認します
❷患者さん役の職員を災害用の担架に乗せ、階段で避難します

また、火災訓練とは別に、消火器・消火栓の使用方法や搬送に特化した講習も定期的に開催しています。訓練を何度か経験していても、いざ火災が起きると慌ててしまい、設備の操作や搬送の方法が分からなくなる可能性もあります。講習会を毎年開くことで、確認する機会を設けています。

❸消火器取扱いの訓練
❹消火栓の取扱い訓練
❺担架を使用せずに搬送する訓練

いざという時、病院の「安全と安心」を守れるよう、今後もスタッフ一同、努力してまいります。

研修を終えて

臨床研修医
山田 真理子

山口赤十字病院で研修をさせていただいて、早2年が過ぎ去ろうとしています。初めて当直に入ったときには何をしていいか分からず、病棟では患者さんの病態の変化への対応の仕方、薬の使い方などが分からずあたふたしていました。その度に上級医の先生やコメディカルの方々に助けていただき、時には厳しいお言葉をいただくことで本当に少しずつではありますが、医師として成長することが出来ました。研修を終え、今までよりもさらに厳しい局面を迎えることもあるとは思いますが、山口赤十字病院で学んだことを生かし、医師として成長し続けていけたらと思います。皆さん、2年間という短い間でしたが、本当にお世話になりました。

臨床研修医
重安 哲志

山口赤十字病院での研修生活がもうすぐ終わるということで、振り返ると様々な経験を積めた2年間だったと感じています。お世話になった地域の方々、赤十字病院のスタッフの方々には本当に感謝しています。働き始めた当初、教科書で勉強したことを実際の現場で行うことの難しさを実感しました。しかし、その度に上級医の先生やコメディカルの方に丁寧に指導していただき、少しずつですが自分ひとりでできることも増えていったように思います。まだまだ分からないことばかりで判断に迷うことが多いですが、山口赤十字病院で学んだことを活かして来年度以降も頑張っていきたいと思います。2年間ありがとうございました。よりよい医師になれるよう精進してまいります。

Introduction of cooperation medical institution

連携医療機関のご紹介

このコーナーでは、当院と連携をとっておられる
地域の“かかりつけ医”をご紹介させていただきます。

相川医院

院長 相川 文仁 先生

相川医院は昭和44年に私の父、相川一郎が地域医療を目指し開設いたしました。あれから53年の年月が流れ、現在では老健施設、サービス付き高齢者向け住宅、在宅支援サービスを展開し、高齢者の方々の幅広いニーズに答えられる様に努めております。

当医院では、外来は、組織の顔であり、対応は最優先する場所であるを掲げ、来院者に配慮して満足と安心を提供する医療機関を目的にしています。インフォームド・コンセントの充実をはかり、やさしく、親切で思いやりのある医療を目指し、多くの訴えのある患者様に対し多種多様な相談にのり、治療が必要な患者様には治療、福祉サービスの必要な方へは福祉相談の提供、専門外では適切な医療機関の紹介を積極的に行って参りました。専門は一般外科ですが一般内科・神経内科・整形外科疾患等の治療も行っております。また、私どもは相川グループを形成し、保健・福祉・医療のハイブリットな施設群を要し、高齢者を中心とした多種多様なサービスを提供しています。

これからも、より多くの患者様に対して適切で確実な保健・福祉・医療の提供を目指し患者様に喜んで安心していただける医院・地域作りをつづけていきたいと思っております。

【所 在 地】山口市鋳銭司5964番地1　【電話番号】083-986-2177　【診療科目】外科・整形外科・内科・呼吸器科・胃腸科・リハビリテーション科・神経内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:30	○	○	○	○	○	○	-
14:30-18:00	○	○	○	-	○	○	-

※休診日：木曜日午後・日曜日・祝日・お盆・年末年始
※神経内科（完全予約制）診療時間：午前9:00~12:30・午後14:00~16:00/休診日：上記・土曜日

yamaseki 001
旬の食材を使って ヘルシーメニュー

小豆ごはん

栄養課 管理栄養士 福重 裕子

赤飯やぜんざいづくりに欠かせない小豆は、食物繊維やポリフェノールを豊富に含む、健康食材です。

豆の外皮に含まれる赤い色素は、サポニン、アントシアニンといったポリフェノールの一種で、体の中の有害な活性酸素を除去する働きがあり、老化や、がん、生活習慣病などを予防する作用があります。

また、小豆の主成分の炭水化物のうち、3割は食物繊維からできていて、大さじ1杯で3gの摂取ができます。

厚生労働省では「健康日本21」の中で、成人1日当たりの豆類や豆腐などの摂取量を100g以上としています。毎日摂取する事で、疲労回復・血糖値の抑制・動脈硬化の予防など、たくさんの健康効果が期待できます。

今回紹介する小豆ごはんは、普段のごはんに小豆を加えて炊くだけです。食感は少し固くなりますが、簡単に出来ますのでぜひお試し下さい。

栄養価（1人分）
エネルギー：240kcal　脂質：0.7g　食物繊維：1.8g
蛋白質：5.4g　糖質：49g

【材料】（3合分）
米……3合　小豆……60g（約大さじ5）

【作り方】
❶小豆はサッと水で洗って、かぶるぐらいの水を加えて中火にかける。❷沸騰したらアクを取り除き、常にたっぷりになるように差し水をしながら一時間程度茹でる。少し固めに茹で、豆と茹で汁を分ける。❸米は洗ってザルにあげ、余分な水気をきる。❹炊飯器に米と小豆のゆで汁をいれ、炊飯器の3合の目盛りまで水を加え、小豆をいれて炊く。
※小豆はたくさん茹でて、小分けにして冷凍しておくと便利です。

<患者さんにお伝えすること（権利と義務）>

医療は、あなたと医療提供者との信頼関係をもとに相互に協力してつくりあげていくものであり、あなた自身が主体的に参加していただくことが重要です。このような考えにもとづき、山口赤十字病院は、患者さんの権利と義務について次のとおり表明します。

1. あなたは、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。医療提供者に対し、あなたの健康に関する情報をできるだけ正確に提供してください。
2. あなたは、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。医療提供者の説明において理解できないことがあればお尋ねください。
3. あなたは、担当医師が提供する検査や治療法に対して自らの意思で同意することも断ることもできます。納得、合意した検査や治療には意欲を持って取り組んでください。
4. あなたは、当院における診療に関する全てのプライバシーが保護されます。ただし、医療実習や症例研究等において「個人情報の保護に関する法律」に従い、個人が特定できない形で診療情報を利用させていただくことがあります。取り扱いには細心の注意を払いますのでご協力をお願いします。
5. あなたは、ご自身が受けている医療について他の医師の意見を聞く権利があります。（セカンドオピニオン）
6. あなたは、院内すべての患者さんが快適な環境で医療が受けられるよう院内の取り決めや職員の指示を守る義務があります。
   大声や暴力行為、不当な要求などにより他の患者さんの診療に支障が生じた場合は、診療をお断りしたり、警察に通報したりすることがあります。